

特集 ラテンアメリカにおける左派の台頭Ⅱ

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	ラテンアメリカレポート
巻	24
号	1
ページ	2-3
発行年	2007-05-20
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00006025

特集

ラテンアメリカにおける 左派の台頭Ⅱ

本特集は本誌前号の特集「ラテンアメリカにおける左派の台頭」の続編である。前号の刊行以降、ブラジル、ニカラグア、エクアドル、ベネズエラで大統領選、あるいは大統領選決選投票が行われ、いずれも左派候補が勝利した。選挙の当たり年2006年が終わり、ラテンアメリカの政治地図は左派政権によって埋め尽くされた感がある（右ページ参照）。しかし一口に左派政権といっても、経済・社会・外交政策、指

導者のイデオロギーや経歴、議会への影響力等々において多様であり、成立の経緯も国ごとに紆余曲折がある。左派政権の多様性をどのように理解すればいいのか。左派政権成立の経緯と今後の展望はいかなるものなのか。本特集ではポピュリズムという視点からラテンアメリカの左傾化の総括を試みるとともに、上記4カ国について左傾化の経緯と新政権の課題について考察を試みた。（星野妙子）

ラテンアメリカの左傾化をめぐって
ネオポピュリズムとの比較の視点から
松下 洋

ブラジル：大統領選挙と2期目を
迎えたルーラ政権
近田亮平

ニカラグア：2006年11月総選挙
オルテガ大統領の再登場
田中 高

エクアドル：コレア政権の政策課題
新木秀和

ベネズエラ：チャベス政権の正念場
「21世紀の社会主義」に向けて
坂口安紀

ラテンアメリカにおける「左傾化」？
Journal of Democracy
特集記事の論調
上谷直克



ニカラグアのオルテガ大統領就任式（2007年1月10日）。左からマチャド・キューバ副大統領、モラレス・ボリビア大統領、オルテガ・ニカラグア大統領、チャベス・ベネズエラ大統領）

最近の大統領選挙と左派政権の登場

